



# 35万は自慢、900万は無視

三十五万と九百万

安倍首相は犬を抱き自宅で寛ぐ様子をインスタグラムに投稿。これには「庶民の窮状をよそに優雅に」と批判殺到。が、菅官房長官は「いいねが三十五万もあつた」とうそづく。

三十五万を自慢するなら短時日で九百万も集まった検察官の定年延長法案への抗議はしっかり受け止めるべき。

## 検察官の定年延長法案

何らかの政策実行に際し専門知識が必要な場合、担当する公務員の定年を特別に延長することはあり得る。

ところが刑事事件ほどの検察官が担当であっても同じ判断をしなければならぬ。

だから、担当検察官が定年で去っても、後を継いだ検察官も同じ

判断をする『苦』。

安倍首相の検察庁法改定案は六三歳になったら検事長等のポストから外すが、特別の場合、例外を認める。

「あの検察官は起訴しない。他の検察官ならするかも」では検察庁への信頼が揺らぐ。

何が特別か、安倍氏が黙っていても、国民は分かる。森友で公文書改竄の主犯は国税庁長官、加計で暗躍したら文科相。桜の会は選挙民買収。ロッキードで田中角栄を追い込んだ当時の検察庁ならとくに安倍逮捕ではないか？黒川検事長が定年でないとなったら他に擁護者はいない。焦って、無理に定年を延長。

今回の検察庁法改定案はその総仕上げ。

国民のコロナ禍を他所に自己保身?!

皆さんはどう思われますか？

註\* 東京新聞5月13日号

なんじゃもんじゃの木  
(ヒトツバタゴ)

神奈川県横浜市南区六ツ川  
(横浜市こども植物園)  
二〇二〇年五月十日



横浜市こども植物園のヒトツバタゴの白い花が満開。

この木は対馬と岐阜県以外には自生していない。江戸青山六道(今は神宫外苑)にあり何の木か分からず「何じゃもんじゃ」と呼ばれた。全国では他に約二十種の木

が「何じゃもんじゃ」と呼ばれているようだ。ヒトツバタゴのタゴはトネリコの事。

ただ、トネリコは複葉なのに、これは単葉なので「ヒトツバタゴ」。一つの葉が、進化で葉に切り込みが出来、更に分かれた部分が一つの

葉のようになったのを複葉と云う。元は一枚の葉なので全体が一つの平面にある。

雄花だけの雄株とおしべめしべのある両性花株がある。こども植物園に問い合わせたら、花を調べてくれた。は両性花と教えてくれた。

先週は休みました

